



1月うぶやま天文台星空情報 1



月が金星、土星に接近

天空が広がる(久住山系、祖母山系、阿蘇山系の山々を一望できる)一覽三山の台があるうぶやまの高原には積雪があり、大変寒いのですが、冬は空気が澄みきっていて星空は一番きれいです。

晴れていれば、肉眼で見える限界の6等星や、天の川まで見える素晴らしいうぶやまの星空を楽しみませんか。

1月のうぶやま天文台の星空情報の第1弾は、1月3日～5日に細い月が金星と土星が接近して見える天文現象です。

この頃、夕方の南西の空には、宵の明星と呼ばれる金星と、それよりやや暗いものの周りの星座の星々よりも目立つ土星が見えています。1月3日から5日にかけて、細い月が、金星と土星に相次いで接近して見られます。3日は、月が金星のやや下側に位置します。4日には、月が金星と土星の間に入り、明るい3つの天体がほどよく並んで印象的な光景となりそうです。5日になると、月は土星の上側へと移動します。3日間続けて観察すると、金星や土星とくらべて月の移動量大きいことが実感できます。

それぞれ明るい天体ですので、毎日同じ時間に写真撮影するなどして記録をとって比較をしてみると、位置関係の変化がより分かりやすくなるでしょう。

【細い月と金星、土星の接近】

